

いのちを育む森を創るために

「かいせい平成の杜づくり」

街づくり推進課 ☎84-0321

今、簡単に参加できる環境保護活動として植樹が注目されています。町は、住民有志の団体cococara（ココカラ／伊藤季江代表）と協働でかいせい平成の杜づくり事業を行いました。



講演をする宮脇昭先生

宮脇先生は85歳。「宮脇方式」という独自の植樹方法を提唱し、加えて東日本大震災被災地の「いのちを守る森の防潮堤」の必要性を指摘したことさらに注目されるようになり、マスコミでも取り上げられています。

宮脇先生は、天皇陛下に「平成の杜づくり」の名称での森づくりを宣言していることから、今回の事業でも宮脇先生の了解のもと、この名称を使っています。

木や森を考える講演会

5月29日(水)に開成南小学校で宮脇先生による講演会を開催し、町内外から135人の参加がありました。

宮脇先生が入場するときには、酒田保育園の園児たちによる心優しい歌「思いやりの木」の合唱があり、講演も木のたいせつさや森の役割について話されました。

う真面目なテーマに笑いを交えたもので、終始和やかな雰囲気でした。

1200本の苗木を植樹

6月14日(金)には南小学校西側の公園予定地で宮脇先生を指導者に植樹祭を開催し、南小学校6年生など町内外から211人の参加がありました。約2時間をかけ、タブや「町の木」でもあるシイガシなど1200本の植樹を行いました。参加者は苗木を1本ずつ丁寧に植えていき、最後に保湿のためのカヤを敷きました。町では、かいせい平成の杜づくりのような、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりの事業に住民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。



カヤを敷く参加者の皆さん

町公有地占用の申請はお済みですか

「許可申請の流れと占用料金」

街づくり推進課 ☎84-0321

町では、より安全で快適な生活環境を守るため、町道や河川・水路の管理に努めています。道路や河川・水路をやるむを得ず個人の目的で使用(占用)するときは、許可申請が必要となります。

町で、管理している公有地(道路・水路などの敷地)の占用について、必要な許可申請手続きの方法と占用料金についてお知らせします。



橋が水路を占用している例

占用許可申請の流れ

道路・水路・公園等の公有地を占用する場合、町へ占用許可申請を行い、占用許可を受ける必要があります。

占用許可期限

占用許可期限は、原則3年以内です。占用許可期間満了後も、継続して占用を希望する場合は、3年ごとに継続申請が必要になります。

占用料金の納付

道路・水路・公園等の公有地を占用する場合、町へ占用料金を納めていただきます。ただし、次の占用については、占用料金が免除になります。

①上下水道等、公営企業の事業のために占用するとき

占用料金の額

占用料金は、物件の種類、大きさ、占用の期間などにより異なります。

占用料金の単価は、「開成町道路占用料徴収条例」に定められており、1年ごとに徴収させていただきます。(占用料金の算出例は下の図のとおり)

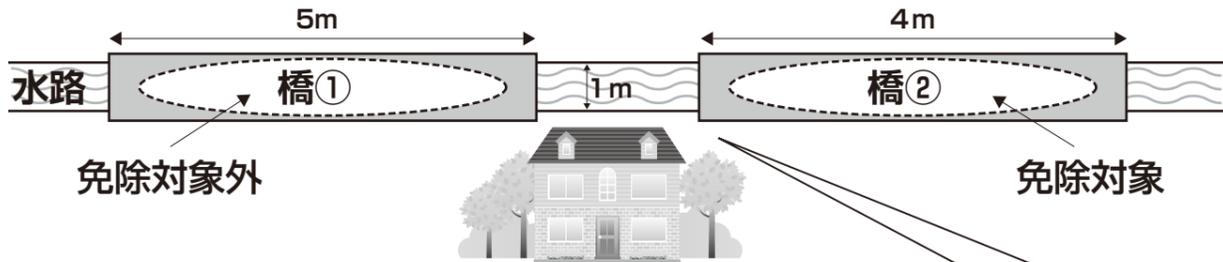
占用許可申請に必要な書類

占用許可申請の手続きの際は、次の書類を提出してください。

- ・ 許可申請書
- ・ 位置図(住宅地図等)
- ・ 占用面積の詳細図
- ・ 現況写真

占用許可を受けていない方は、早急に申請手続きをお願いします。

図 幅員5メートルと4メートルの橋が2か所ある場合



占用料徴収対象部分
 $5\text{m}(\text{橋①}) + 4\text{m}(\text{橋②}) = 9\text{m}$
 $9\text{m} - 4\text{m}(\text{免除}) = 5\text{m}$ 幅員4mを超える占用料徴収部分
 $A = 5\text{m}^2 (1\text{m} \times 5\text{m})$

● 占用料の算出例
 占用料金 = (占用単価) × (占用数量)
 占用料金 = $512\text{円} \times 5\text{m}^2$
 = 2,560円/年

占用単価 = 町で管理している固定資産台帳に記載されている m^2 当たりの単価 × 0.006

日本一元気・きれいな健康な町をめざして

開成町長 府川 裕一



6月28日(金)に「うちそら」というお店が糧本にオープンしました。ハンドメイド作品の販売、カフェです。

「うちそら」という名前は、お店の「おうち」と「空間」を楽しんでもらいたい、また、地域の皆さんと空のようにすっとつながっていかれたらという思いが込められた屋号だそうです。

5人の若いお母さんたちで運営します。「集う・学ぶ・楽しむ」をコンセプトにいろいろなことにチャレンジしたり、楽しんだり、時にはくつろいでゆったりできる空間を用意します。

「消しゴムはんこ」「マンガプリン」「お花のプローチ」作りなど夏休みには、子ども向け教室もたくさん企画されています。地域のプチカルチャーセンターです。

開成町を元気にする民間プロジェクトが始動しました。皆さんも出かけてみては?



うちそらのスタッフの皆さん